保育所の自己評価

令和7年度・ゆずりは保育園

はじめに

全職員20名の自己評価の結果、園全体の「はい」の割合は72.5%（評価B）でした。理念・保育観（87%）や3歳未満児保育（92%）は高く、保育計画・指導計画（55%）と環境（58%）が課題です。

保育所保育指針には「保育士等は保育の計画や保育の記録を通して自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通してその専門性の向上や保育実践の改善に努めなければならない」と記されています。そのことを踏まえ、ゆずりは保育園において、全職員を対象として自己評価を実施しました。

以下の項目に沿って自らの保育等を振り返ることを通して、より良い保育に繋げて頂くことを目的としています。評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育を実施していけるよう努力していきます。

〈評価について〉

各設問に「イ：はい／ロ：いいえ／ハ：どちらともいえない、わからない」で回答し、回答者のうち「イ」と答えた割合から次の基準で評価しました。

評価	内容	「イ」の割合
A	十分わかる、十分できている	80%以上
B	おおむね分かる、おおむねできている	60%以上80%未満
C	あまり分からない、やや不十分	40%以上60%未満
D	ほとんど分からない、改善を要する	40%未満

各表の「イ/ロ/ハ」は回答人数です。職種により対象外の設問があるため、設問ごとに回答人数が異なります。

〈実施期間〉 2025年10月24日〜10月31日（回答者20名）

経営理念（株式会社ハビリテ）

- おやこを照らす光に

保育理念（ゆずりは保育園）

- ありのままの自分を大切にし、心の根っこを育む

【第1章】保育の理念・保育観

「イ」の割合は87%で評価Aです（全16項目：A 14・B 1・C 0・D 1）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
1-1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	20/0/0	A
1-2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育園の重要な使命だと理解していますか。	19/0/1	A
1-3	あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、 その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考えるときのガイドラインとしていますか。	7/5/8	D
1-4	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	19/0/1	A
1-5	あなたは、保育所保育は養護と教育が一体となって行われている、ということを意識して保育していますか。	18/0/2	A
1-6	今日の保育園には、入園している子どもの保育だけでなく、 ひろく地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。	15/0/5	B
1-7	あなたは、子どもに、文化や生活習慣、考え方が多様であることを知らせ、それらを尊重する心を育てるよう努めていますか。	16/1/3	A
1-8	子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。	19/1/0	A
1-9	あなたは、日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。	20/0/0	A
1-10	あなたは、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。	20/0/0	A
1-11	様々な特徴 (障害)を持つ子も持たない子も、一人ひとりのありのままの姿を受けとめ、地域のすべての子どもが健やかに成長することを願って保育をしていますか。	20/0/0	A

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
1-12	育児の考え方について、保護者とあなたとが食い違っているとき、 先ず相手の気持ちを受け止め、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか。	18/0/2	A
1-13	子どもの家庭状況はみな違うという考えの上で、 今、 その子に何が必要かを見極め、 それぞれにとって適切な援助をしていますか。	18/0/2	A
1-14	子どもが熱中しているときは、 そのときの保育の内容や流れに変更が生じても、危険のない限りその活動を見守ることができますか。	16/0/4	A
1-15	あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいますか。	17/0/3	A
1-16	あなたは、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題をみつけることができますか。	17/0/3	A

〈まとめ・今後の課題〉

- 子どもの人権の尊重、秘密保持、心身の苦痛を与えないこと（1-1・1-9・1-10・1-11）は全員が「はい」と回答し、保育の土台となる考え方は職員間で共有できています。
- 1-3「保育所保育指針を日頃から読み、ガイドラインとしている」は「はい」が20名中7名（評価D）でした。会議や園内研修で指針を読み合わせる機会をつくりたいと考えます。
- 1-6「地域の子育て支援の役割の認識」（評価B）は、第5章とあわせて理解を深めていきます。

【第2章】保育の内容

12分野のうち、評価Aは3分野、Bは7分野、Cは2分野（保育計画・指導計画、環境）です。

(1) 保育計画・指導計画

「イ」の割合は55%で評価Cです（全12項目：A 1・B 4・C 5・D 2）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-1	あなたは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか。	6/2/7	C

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-2	あなたは、保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。	9/1/5	B
2-3	保育には指導計画(年・月・週・日案など)の作成という、 あらかじめ見通しを持った計画性が必要だと思いますか。	14/0/1	A
2-4	あなたの月・週案などには、教育的側面(五領域の視点)だけでなく、養護的側面 (基礎的事項)もしっかり盛り込まれていますか。	6/0/7	C
2-5	あなたは、指導計画を作成するときに、地域の実態や保護者の意向・希望などを考慮していますか。	5/2/6	D
2-6	子ども一人ひとりの発表の姿や興味の対象の実態を把握して、 月・週・日案などを作成していますか。	8/0/5	B
2-7	あなたの月・週・日案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されていますか。	7/0/6	C
2-8	複数担任の場合、 良く話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、 月・週・日案などを立てていますか。	5/1/7	D
2-9	園の保育理念や方針・目標、あなたの作成した年・月・週・日案などのねらいや内容を、保護者に分かるように説明できますか。	7/1/6	C
2-10	あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画の中に取り入れるようにしていますか。	9/0/5	B
2-11	月・週・日案などが、 実際の子どもの姿、興味・関心に合っていたかという視点から自分の保育を評価・反省していますか。	8/0/5	B
2-12	月1回以上、自分自身の指導計画の点検・評価を行い、その結果をつぎの指導計画に活かしていますか。	6/0/7	C

(2) 乳児保育

「イ」の割合は72%で評価Bです（全15項目：A 7・B 3・C 4・D 1)。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-13	あなたは、一人ひとりの子どもの出生時の状況、 その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、 その子の背景や保護者の状況も理解していますか。	6/4/2	C
2-14	哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、 子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っていますか。	5/2/4	C
2-15	授乳について、 その子が欲しがる時にやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。	3/3/4	D
2-16	離乳食は、家庭と連携をとりながら、 一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うよう工夫していますか。	6/2/4	C
2-17	その子にとって初めての食品を食させたときは、皮膚や便性などに異常がないか観察していますか。	7/2/3	C
2-18	おむつ交換は「きもちいいね」などとやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、 排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。	8/1/2	B
2-19	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受けとめ、 ほほえみ、 要求に応じる言葉をやさしく返していますか。	9/0/2	A
2-20	子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進をはかるようにしていますか。	10/0/1	A
2-21	喃語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育んでいますか。	11/0/0	A
2-22	絵本を見せながら、 その子の指さすものに応えたり、 やさしい言葉を添えたりして、 あなた自らもそのやりとりを楽しむことができますか。	10/1/0	A
2-23	あなたがどんな状態にあるときにでも、 赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。	11/0/0	A
2-24	あなたは、自分の服装の色合い、頭髪・爪などの清潔や、室内の清潔にも配慮していますか。	10/1/1	A

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-25	寝返りができない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにするとともに、 睡眠中の姿勢、 かけぶとん、 呼吸等の確認をしていますか。	8/1/2	B
2-26	一人ひとりの生活リズムや欲求、 その日の体調等を把握して上で、昼寝の時間を短くしたり長くしたりする柔軟性を持ち合わせていますか。	9/0/2	A
2-27	連絡ノートを活用するなどして、 保育園以外での子どもの様子も把握するように努めていますか。	8/1/2	B

(3) 3歳未満児保育 (1・2歳児保育)

「イ」の割合は92%で評価Aです（全15項目：A 14・B 1・C 0・D 0)。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-28	大勢の子どもを保育するときでも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら、 個別対応の努力や工夫ができますか。	12/0/0	A
2-29	「できない、やって!」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持を受けとめ、 一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	12/0/0	A
2-30	あなたは子どもの「これなーに?」、「どうして?」 などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度答えようとしていますか。	12/0/0	A
2-31	探索行動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えたうえで、子どもが要求する行動を容認できますか。	11/0/1	A
2-32	着替えや食事などの時には、 その子に応じた手助けやことばかけをしながら、 時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	13/0/0	A
2-33	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、 楽しい雰囲気で食事ができることを第一に考えていますか。	11/0/2	A

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-34	子どもがおもちゃの取り合いなどでぶつかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、 子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができますか。	10/0/2	A
2-35	「おや、 何だろう?」「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす教材や素材、 場を用意する心配りをしていますか。	7/1/3	B
2-36	散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、 花や葉、虫や動物などを見つけたりして、 子どもとともに自然物や動物への興味・関心を持つことを大切にしていますか。	11/0/1	A
2-37	子どもと会話をするときに、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持や伝わった喜びを共感していますか。	12/0/0	A
2-38	あなたは、自分の表情に配慮しながら、 子どもにわかるように、 ゆっくり、はっきり、 おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけていますか。	11/0/1	A
2-39	子どもに「絵本読んで」、「遊んで」と言われた時に、場面に応じて 「待って」と言った場合にも、その理由を伝え、その子の気持ちに応えていますか。	11/0/1	A
2-40	歌を歌ったり、リズムにのって体を動かすとき、 あなたは歌や動きを子どもに合わせ、 一緒に楽しむことができますか。	12/0/0	A
2-41	わがままで「いやだ」という子どもの内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしていますか。	12/0/0	A
2-42	自分の思い通りにならず、 おこったり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせたり、気持ちを切り替える時間をとり、 ゆったりと待つことができますか。	10/0/2	A

（4）3歳以上児保育 ア.基礎的事項

「イ」の割合は88%で評価Aです（全9項目：Ａ6・Ｂ3・Ｃ0・Ｄ0）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-43	子どもが緊張したり、不安を感じたときにはあたたかく受け止め、母親のようにやさしく接するなど、家庭的な雰囲気づくりに心がけていますか。	14/0/0	A
2-44	あなたは、子どもが安心して自分の気持を伝えられるように、いつも心を開いて、 信頼関係をつくる努力をしていますか。	14/0/0	A
2-45	子ども一人ひとりの背景や保護者の状況を理解し、受けとめて、安心して甘えられるように、その子の気持ちに寄り添い、支えていますか。	13/0/1	A
2-46	あなたは、今まで大事に飼っていた小鳥などの小動物が死んだとき、 子どもと悲しみを共有し、生命の大切さを伝えていますか。	10/0/3	B
2-47	子どもが自己表現できるように、 その時どきの要求や気持ちを読み取り、どの子も自分が愛されていると実感できるように接していますか。	13/0/1	A
2-48	子ども一人ひとりの必要に応じて、心も体もゆったりとくつろげるための空間と時間をつくり出す努力をしていますか。	10/0/4	B
2-49	少しでもふだんと違う具合の悪そうな子どもに気づいたら、 自分から体の不調を訴えられるように、やさしく問いかけていますか。	14/0/0	A
2-50	日常の生活でのしぐさをよく観察して、行動や身体の異常などの早期発見に努めていますか。	12/0/1	A
2-51	季節感を味わえる環境を整えたり、 心地よい音楽を流すなど、 なごやかにくつろいで過ごせる室内の環境づくりを心がけていますか。	9/0/5	B

(5) 3歳以上児保育 イ. 健康

「イ」の割合は71%で評価Bです（全12項目：A 3・B 5・C 4・D 0）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-52	あなたは「食育」の考え方を大切にし、食事を 「楽しく・おいしく」 味わえるように、 テーブルの配置や飾りつけなども工夫していますか。	9/1/4	B

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-53	あなたは、子どもが、 配膳の手伝いなど、食事に興味がもてるような機会を作るようにしていますか。	11/1/3	B
2-54	「食育」の活動の一環として、調理をしているところを子どもに見せたり、栄養士や 調理員の話を聞かせたりして、子どもが食材や食事に関心を持つようにしていますか。	11/0/4	B
2-55	給食のメニューやレシピ、食に関する情報を保護者に知らせるなど、 発育期にある子どもの食事の大切さに関心をもってもらう努力をしていますか。	8/3/4	C
2-56	天気の具合や活動の内容・程度に応じて、衣服の着脱、調節を子ども自らが考えられるように言葉をかけていますか。	12/1/1	A
2-57	トイレに行くことをせかせたり、強制したりせずに、一人ひとりの排泄の欲求に合わせるようにしていますか。	13/0/1	A
2-58	おもらしをしたり、排泄の後始末がうまくいかなくても、さりげなく対応し、自分でできるように個別の指導がなされていますか。	14/0/0	A
2-59	子どもたちが快い疲労感を感じて昼寝に入れるよう、 十分な遊びの場や時間を設けるようにしていますか。	10/1/2	B
2-60	昼寝の時間以外でも、一人ひとりの状況に応じて、眠らせたり、 身体を休ませるようにしていますか。	7/2/4	C
2-61	清潔でいることは気持よいことと子どもが知るために、手洗い場、トイレなどをいつもきれいにしていますか。	10/0/4	B
2-62	こどもが、いろいろな楽しさを味わうため、 散歩など戸外に出かける機会を積極的に多く取り入れていますか。	8/0/6	C
2-63	子どもが外で十分に体を動かして遊びに興ずることができるように、 日頃から園庭や固定遊具の整備をしていますか。	6/2/5	C

（6）3歳以上児保育 ウ.人間関係

「イ」の割合は78%で評価Bです（全9項目：Ａ４・Ｂ４・Ｃ１・Ｄ０）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-64	「保育園や先生が好きだ」といった幸福感を味わえるために、子どもが充実できる活動や場を日頃から用意していますか。	9/0/4	B
2-65	あなたは、子どもが嬉しい時や悲しい時、また困ったり戸惑ったりした時に、それを伝えたい存在となっていますか。	10/0/3	B
2-66	自己を表現する力や相手の言うことをきく姿勢がもてるよう、 あなたはそれぞれの子どもの立場や気持をくみ取った仲立ちをしていますか。	14/0/0	A
2-67	あなたは、その子の発達の段階を理解して働きかけながら、子どもがきまりや約束の大切さに気づき、それを守ろうとする態度を養うように努めていますか。	12/1/1	A
2-68	遊びの中で子ども達が自ら試行錯誤しながら作っていくルールを、大切に見守ることができますか。	13/0/1	A
2-69	子どもたちのけんかやぶつかり合いを、友だちを知る機会や、社会性が育つ過程として受け止め、その育ちを見守ることができますか。	13/0/1	A
2-70	一人ひとりの興味や発達に応じた取り組みをして、子どもたちが一緒に関わり合う喜びを味わう場や機会を用意できていますか。	8/1/5	C
2-71	タテ割保育などのとき、発達や生活経験の違いに着目して、それぞれの子どもがもっている課題を見いだすことができますか。	9/1/4	B
2-72	高齢者や実習生、中・高生等を受け入れるときに、子どもがとまどいながらも楽しめるように援助し、人間関係を学ぶ機会としていますか。	8/0/5	B

(7) 3歳以上児保育 エ.環境

「イ」の割合は58%で評価Cです（全8項目：A 1・B 3・C 2・D 2）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-73	今日咲いた花、飛んできた鳥や虫など、 それぞれの季節ならではの子どもの感動が、 あなた自身のものとして受け止められていますか。	13/0/1	A

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-74	庭や散歩で拾ってきた木の葉 木の実など、いろいろなものを比べたり調べたりして、 自然の不思議さや面白さを子ども達と共感するとともに、物の性質や数・量などに対する興味を育てていますか。	9/2/3	B
2-75	春には花が咲き、 冬には葉が落ちるなど自然の営みについての子どもの疑問にわかりやすく答えることができますか。	7/3/4	C
2-76	子どもの質問や疑問に、すべて答えたり、 すぐに回答を出すのではなく、実物を見せたり図鑑などで調べたりする誘いかけもしていますか。	10/1/3	B
2-77	朝顔の栽培、 オタマジャクシの飼育など身近な自然物からでも、動植物の成長の過程を子どもとともに楽しんでいますか。	10/1/4	B
2-78	あなたは、最近の社会の出来事に目を向け、理解したうえで、子どもの興味・関心に沿うかたちでわかりやすく説明することができますか。	4/2/7	D
2-79	地域の公共施設やそこで働く人々と子どもの生活とのかかわりについて、正しく伝えていますか。	3/4/6	D
2-80	子どもが自由に取り出して遊べるよう、 遊具・用具などの構成を整え、その量や補充について工夫していますか。	8/1/5	C

(8) 3歳以上児保育 オ. 言葉

「イ」の割合は90%で評価Aです（全11項目：A 9・B 1・C 1・D 0）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-81	言葉は、コミュニケーションや思考・行動のために不可欠なものであることを認識し、 幼児期に言葉を豊かに身に付けられるように努力していますか。	13/0/1	A
2-82	子どもたちが、 生活や遊びを通して、 生きた言葉を多く自分のものとできるように工夫していますか。	12/0/2	A
2-83	日頃あなたは、声の大きさに気をつけ、 わかりやすい、子どもへの心を込めたあたたかな言葉づかいでゆっくり話すようにしていますか。	14/0/0	A

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-84	子どもが登園してきたとき、いつもさわやかに挨拶をし、その時々に必要な言葉をかけるようにしていますか。	14/0/0	A
2-85	絵本や童話を読み聞かせるときは、文章の美しさや言葉のリズムの面白さに気を配り、 その物語性や、伝統のすばらしさを伝えるようにしていますか。	11/0/3	B
2-86	紙芝居や絵本の読み聞かせで、子どもが感動したり想像力を膨らませるように、 あなた自身もその内容を楽しんでいますか。	12/1/1	A
2-87	子どもが話しかけてきたとき、その内容や結論がわかっていても、ゆっくり聞いて会話したい気持ちを満たし、言葉で伝えあう場を大切にしていますか。	14/0/0	A
2-88	あなたは、子どもの目を優しく見つめながら気持ちを合わせ、その子の言葉だけでは なく、目の動き、顔の表情、体全体のしぐさにも注意を払っていますか。	14/0/0	A
2-89	子どもと一緒に美しい花を目にしたときなど、 あなたは「きれいね」だけではなく、 もっと多様な言葉でその感動を表現していますか。	8/1/5	C
2-90	あなたは、 「早く~しなさい」 「だめ」・「いけません」 などの指示・命令する言葉や禁止語をできるだけ使わないようにしていますか。	12/0/2	A
2-91	子どもに言い聞かせるときには、問いつめたり、押し付けたりせずに、子ども自ら考えるきっかけになるようなわかりやすい言葉づかいをしていますか。	14/0/0	A

(9) 3歳以上児保育 カ. 表現

「イ」の割合は61%で評価Bです（全10項目：A 3・B 2・C 3・D 2）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-92	見たこと、感じたものに対して、 言葉、絵、造形、からだ、音などその子が最も好きな、得意とする方法で表現することを大事にしていますか。	12/0/2	A
2-93	あなたは、その子が感じたままを作品や動きなどで表現していることをくみ取ることができますか。	11/0/2	A

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-94	あなたは、絵などの作品に、その子の喜びや悲しみ、驚きなどの感動を読み取ろうとしていますか。	13/0/1	A
2-95	活動の場面に応じて、リズムやボリュームなどに配慮して子どもの耳に快く響く音を提供していますか。	9/1/3	B
2-96	鈴・カスタネットなどのリズム楽器を活用し、 子どもが音色やリズムの楽しさを満喫できるようにしていますか。	6/2/5	C
2-97	友達との合奏が、一人で楽器を鳴らすこととは違った楽しさもあることを体験できるよう、あなたは盛り上げる役を果たしていますか。	5/2/6	D
2-98	子どもが自分の作品を大切にされていると感じられるように、 展示のしかたなどを工夫していますか。	6/1/5	C
2-99	子どもが、いつでもすぐに使えるように、 クレヨン・絵の具・粘土・紙などを手近に用意していますか。	3/4/6	D
2-100	ハサミなど危険を伴う道具には、正しい使い方や後片づけのしかたを日常的に指導していますか。	8/1/4	B
2-101	子どもたちの遊びに、身体を使った様々な表現遊びを多く取り入れていますか。	7/0/6	C

(10) 特別な配慮や支援を必要とする子ども(障害児)の保育

「イ」の割合は72%で評価Bです（全12項目：Ａ４・Ｂ５・Ｃ３・Ｄ０)。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-102	保育園は、障害をもつ子もそうでない子も「共生」「共育」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。	20/0/0	A
2-103	障害児が入園した時、安全な管理や個別的対応などその子を受け入れるための保育を、 積極的に進めようと考えていますか。	19/0/1	A
2-104	障害児について素朴な疑問をなげかけてくる子に対して、必要に応じて障害の性質や行動の困難さなどについて、丁寧に説明していますか。	13/2/5	B

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-105	あなたは、障害児もそうでない子も互いの良さを感じとり、 楽しく交流できる雰囲気づくりに励んでいますか。	20/0/0	A
2-106	あなたは、障害児の世話をし過ぎる子どもや、 逆に無関心な子どもの存在に気づき、 それへの配慮を心がけていますか。	15/0/5	B
2-107	あなたは、園でのケース会議で積極的に議論することにより、園内の障害児への理解を深めるよう努力していますか。	14/2/4	B
2-108	あなたは、障害児により適切な保育をするために、さまざまな専門機関等と連携をしていますか。	9/4/7	C
2-109	障害児の保護者が、 様々な苦しみや悩みを抱えてきていることを、触れ合うなかで感じることがありましたか。	17/1/2	A
2-110	日常的に障害児に保護者との話し合いの場等を設けて、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持の援助に心がけていますか。	13/1/6	B
2-111	就学に向けて相談する障害児の保護者に対して、保護者が自分で方向を決めていけるように相談に応じたり、情報提供したりしていますか。	9/2/9	C
2-112	障害児を受け入れている園の方針を、健常児の保護者に理解してもらえるよう努力していますか。	10/2/8	C
2-113	障害児保育をより豊かなものにするために、子どもたちにふさわしい環境・物的環境 (遊具等)を整えるなどの努力をしていますか。	13/0/7	B

(11) 行事

「イ」の割合は61%で評価Bです（全9項目：A 1・B 4・C 3・D 1)。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-114	あなたは、園が従来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいますか。	8/0/6	C

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-115	「行事」を保育に取り入れるときには、 それが子どもの健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。	13/0/1	A
2-116	みんなで楽しむとともに、 一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」 となっていますか。	9/0/5	B
2-117	あなたは、子ども達にとってその季節や時期にしか味わえない有意義な体験となるよう「行事」に工夫を凝らしていますか。	8/0/6	C
2-118	子ども達が期待をもって 「行事」に参加できるよう、 年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意していますか。	6/3/5	C
2-119	「行事」に参加することを嫌がる子どもには、その気持をくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。	10/0/4	B
2-120	保護者が参観する 「行事」のときには、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらう気持のゆとりをもっていますか。	9/0/5	B
2-121	保護者や地域住民にも参加してもらうような 「行事」については、 園だよりや広報紙 等で事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。	3/2/8	D
2-122	子どもも保護者も期待感をもつ 「行事」には、あなた自らも喜んで、余裕をもって参加できていますか。	10/0/4	B

(12) 延長保育・一時保育

「イ」の割合は69%で評価Bです（全5項目：A 2・B 0・C 3・D 0）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-123	長時間にわたる保育を受ける子どもには、 特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気に配慮していますか。	13/0/0	A
2-124	次々にお迎えが来るなかで、 「ママ来ないね」のつぶやきに対して、その子の気持を受け止めて、安定した気持で待つことができるよう適切な対応をしていますか。	13/0/0	A

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
2-125	あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配慮していますか。	6/1/5	C
2-126	延長保育の子どもには、担任でなくても、園での様子が保護者に十分伝わるよう、連絡ノートやおたよりを活用していますか。	6/1/5	C
2-127	延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子ども同士で遊べるような工夫をしていますか。	5/1/6	C

〈まとめ・今後の課題〉

- 3歳未満児保育（92%）、言葉（90%）、3歳以上児の基礎的事項（88%）は評価Aで、子どもの気持ちに寄り添う日々の関わりは十分にできています。
- 保育計画・指導計画（55%）が最も低く、2-5「地域や保護者の意向の考慮」と2-8「複数担任での話し合い」が評価Dでした。計画作成と振り返りの時間を確保し、担任間で共有する仕組みづくりが必要です。
- 環境（58%）では2-78「社会の出来事の説明」と2-79「地域の公共施設とのかかわり」、表現では2-97「合奏の盛り上げ」と2-99「画材を手近に用意」が評価Dでした。保育室の環境構成や素材の置き方を見直していきます。
- 行事では2-121「保護者・地域への事前の趣旨説明」が評価Dでした。園だよりなどでの発信を工夫します。

【第3章】保健活動・安全管理

「イ」の割合は69%で評価Bです（全14項目：A 2・B 9・C 2・D 1）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
3-1	身長・体重等の測定や医師の診断から、 発育・発達の状態を把握して、それを保護者や他の職員に伝えるとともに、日常の保育に生かしていますか。	13/1/6	B
3-2	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、 日常的な体調や機嫌の状態をつかむように努めていますか。	20/0/0	A
3-3	あなたは、子どもに何らかの異常がみつかった場合、 より適切な処置ができるように、 嘱託医の指導を受けるなど日頃から学習をしていますか。	7/3/10	D

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
3-4	あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。	12/1/7	B
3-5	子ども一人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。	15/1/4	B
3-6	あなたは、睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。	15/0/5	B
3-7	アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指導のもとに適切に対応していますか。	11/1/8	C
3-8	あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、 虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を考えていますか。	15/1/4	B
3-9	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、 あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか。	15/1/4	B
3-10	園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り返して整えるなど、 安全な環境づくりの努力をしていますか。	15/1/4	B
3-11	地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか。	15/2/3	B
3-12	登降園時の事故防止について、保護者が何を注意すればよいか、 あなた自身が説明することができますか。	9/7/4	C
3-13	そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。	20/0/0	A
3-14	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか。	12/3/5	B

〈まとめ・今後の課題〉

- 3-2「日常の体調や機嫌の把握」と3-13「危険な行動の制止」は全員が「はい」と回答しています。

- 3-3「嘱託医の指導を受けるなど日頃からの学習」が評価D、3-7「アレルギー等への対応」と3-12「登降園時の事故防止の説明」（「いいえ」7名）が評価Cでした。嘱託医や看護師による園内研修や、保護者への伝え方の確認を進めます。
- 3-14「不審者対応の話し合い」は「いいえ」が3名でした。訓練と話し合いの機会を定期的に設けます。

【第4章】保護者・地域社会関係機関との連携

「イ」の割合は61%で評価Bです（全17項目：A 7・B 3・C 3・D 4）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
4-1	園での様子を伝え家庭での様子を聞く中で、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜びあうことができますか。	16/0/4	A
4-2	その日の子どもの健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎えの時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	16/0/4	A
4-3	保護者から突然、 お迎えが遅くなると連絡があった時にも、快く応対するよう努めていますか。	16/0/4	A
4-4	保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考えてくれる存在であると思えるよう、あなたはこちらから進んで触れ合うことを心がけていますか。	15/0/5	B
4-5	たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し意見や要求を聞こうとする姿勢がもてますか。	17/0/3	A
4-6	あなたは、保育に関する保護者の考えや提案を積極的に聞き、 保育の流れの中で適切と思うものについては、 園長等と話し合ったうえで受け入れるように努めていますか。	18/0/2	A
4-7	保育園が、保育参観だけでなく時には保護者に保育参加(保育に直接加わる)をしてもらう方針を決めた場合、協力できますか。	18/0/2	A
4-8	あなたは、連絡帳を、保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。	9/1/10	C
4-9	保護者同士が相談相手になれるよう、お互いをよく知り合う機会を多く設ける努力をしていますか。	8/3/9	C

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
4-10	地域の人たちによるボランティア活動などをどのように保育に組み入れたらよいか、 職員間で話し合うとともに、 あなた自身もきちんとした見通しをもっていますか。	5/5/10	D
4-11	老人会、町内会など地域組織と連携するとき、 保育士としてどういう役割を担うべきか、考えた事がありますか。	5/5/10	D
4-12	放課後遊びに来る学童や卒園児にも、園の子どもと一緒に仲間に入って楽しく遊べるような配慮をしていますか。	5/2/13	D
4-13	あなたは、保育園が地域の中学・高校の生徒との交流をしたり、実習生を受け入れるときに、めんどうがらずに指導することができますか。	14/0/6	B
4-14	散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会をもつようにするとともに、気持よくあいさつをかわしていますか。	18/0/2	A
4-15	地元の公共機関を利用するなど、地域の人々にかわいがられて、子どもたちが豊富な社会体験を得られるようにしていますか。	7/4/9	D
4-16	公園などの公共の場を使用した後は、 あなたは子どもたちと一緒に清掃するなど、気を配っていますか。	10/3/7	C
4-17	あなたは言葉が通じない外国人に、尻込みしないで身ぶり手ぶりでも対応できますか。	12/2/6	B

〈まとめ・今後の課題〉

- 保護者との日々のやり取りや、意見を受け止める姿勢（4-1〜4-7）はほぼ評価Aです。
- 地域との連携が課題で、4-10「ボランティア活動」、4-11「地域組織との連携」、4-12「学童・卒園児との交流」、4-15「公共機関の利用」が評価Dでした。園として地域とどう関わるか、方針を職員で共有していきます。
- 4-8「連絡帳の書き方」と4-9「保護者同士の交流の機会」は評価Cでした。

【第5章】地域の子育て支援

「イ」の割合は63%で評価Bです（全7項目：A 1・B 4・C 1・D 1）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
5-1	あなたは、日頃の保育内容、 子どもたちへの保育方法のすべてが、 地域の子育て支援につながることを自覚していますか。	14/1/5	B
5-2	あなたは、保育園には子育て相談などの 「地域子育て支援」という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的にかかわりたいと考えていますか。	13/0/7	B
5-3	あなたは、 相談の基本原理 (受容・相互信頼関係・個別性・自己決定・ 秘密保持)について理解し、子育て相談の実践に生かしたいと考えていますか。	13/0/7	B
5-4	あなたは、本来業務の保育に支障がない限り、 電話相談などの子育て支援を行いたいと思いますか。	10/2/8	C
5-5	あなたは、子育て相談を実施する際に連携すべき機関等(保健センター・児童相談所・福祉事務所・医療機関等)の機能についてよく知っていますか。	6/8/6	D
5-6	あなたは、子育てサークル・子育てボランティアの育成・支援に関心があり、勤務園が実施する時には、協力するつもりですか。	14/0/6	B
5-7	保育園が発信元になって、 園の保護者以外にも子育ての大切や喜びを伝える役割を担っている事を理解していますか。	18/0/2	A

〈まとめ・今後の課題〉

- 5-7「園が子育ての大切さや喜びを伝える役割の理解」は評価Aです。
- 5-5「連携すべき機関の機能の理解」が評価D（「いいえ」8名）でした。保健センターや児童相談所などの役割を学ぶ機会をつくります。
- 5-4「電話相談などの子育て支援への意欲」は評価Cでした。

【第6章】保育園の職務・役割分担

「イ」の割合は79%で評価Bです（全11項目：A 8・B 2・C 1・D 0）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
6-1	園長や主任の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、 あなたは質問したり意見を言ったりできますか。	16/1/3	A

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
6-2	園長や主任などと意見が合わないとき、十分に話し合ったうえで、上司の指示に従うことができますか。	18/0/2	A
6-3	登園を嫌がることが続くなど、問題を感じたとき、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策のしかたを相談していますか。	17/0/3	A
6-4	あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。	13/2/5	B
6-5	職員会議等で自分の意見や考え方と違う結論が出たときも、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。	19/0/1	A
6-6	栄養士など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわるとき、 その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、 保育士としてのあなたの役割が何であるか理解していますか。	19/0/1	A
6-7	あなたは保育士として、他の職種の職員やパートの人たちにどんな役割を果たしてほしいか、具体的な期待を持っていますか。	16/1/3	A
6-8	あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、 職員間の連携に努めていますか。	16/0/4	A
6-9	あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任を持って毎日点検・管理していますか。	9/4/7	C
6-10	あなたは、たとえ自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自らすすんで整えることができますか。	14/2/4	B
6-11	あなたの本来の業務以外に保育園にかかわる仕事を頼まれたとき、それも職務の一端と考え、責任をもって引き受けていますか。	17/0/3	A

〈まとめ・今後の課題〉

- 上司への相談、会議の結論への協力、他職種との連携（6-1〜6-3・6-5・6-6）は評価Aで、チームワークは良好です。
- 6-9「自分のクラスの教材・備品の毎日の点検」が評価C（「いいえ」4名）でした。点検の方法や担当を決めていきます。
- 6-4「職員会議での発言」は評価Bで、意見を出しやすい会議の進め方を工夫します。

【第7章】保育士としての資質向上（研修・研究活動）

「イ」の割合は70%で評価Bです（全12項目：A 5・B 4・C 2・D 1）。

No.	評価項目	イ/ロ/ハ	評価
7-1	あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。	18/0/2	A
7-2	あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題をみつけることができますか。	17/1/2	A
7-3	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	20/0/0	A
7-4	保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか。	18/1/1	A
7-5	あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しっかり記録に留めることができますか。	12/0/8	B
7-6	あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題をみつけ、ケーススタディーをすることができますか。	14/0/6	B
7-7	あなたは、 保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書をみつけて、そこから学ぶことができますか。	16/0/4	A
7-8	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、 言葉に配慮しながら素直に述べることができますか。	13/2/5	B
7-9	あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか。	11/2/7	C
7-10	あなたは、積極的に研究グループやサークルに参加して独自に勉強していますか。	6/7/7	D
7-11	あなたは、研修会の機会があれば、自費でも参加したいと思いますか。	12/0/8	B
7-12	あなたの保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか。	10/4/6	C

〈まとめ・今後の課題〉

- 7-3「批評や意見を謙虚に聞く」は全員が「はい」と回答し、自分の保育を振り返る姿勢はできています。
- 7-10「研究グループ等への参加」が評価D、7-9「研修内容の職員への共有」と7-12「保育日誌などの記録」が評価Cでした。研修報告の場をつくり、記録の書き方を職員間で共有していきます。